

日本物理学会 2016 年秋季大会

領域 10 インフォーマルミーティング 議事録

日時：2016 年 9 月 15 日（木）12:30~13:05

会場：金沢大学角間キャンパス BC 会場

議事と審議事項、連絡事項について

1. 正副代表・運営委員選出について、およびフォノン分科運営委員の人数の変更

[審議事項]

・2017 年度の領域副代表に、格子欠陥・ナノ構造分科から西谷滋人先生（関西学院大学）が推薦され満場一致で承認された。学会への書類の提出は、10/31 まで。

・2016 年度後期（10 月~）の運営委員として以下 3 名が推薦され承認された。

誘電体：青柳忍先生（名古屋市立大学）

格子欠陥・ナノ構造：椎原良典先生（豊田工業大学）

中性子・ミュオン：山田悟史先生（KEK 物構研）

また X 線・粒子線では、影の期間が存在するため任期が 2 年半となることが説明された。

・来年度から吉矢先生が領域代表になられることに伴い、フォノン分科の運営委員を 2 名体制にすることが先の領域 10 の運営委員会で決定されている。フォノン分科から垂水竜一先生（大阪大学）が推薦され、満場一致で承認された。正式には、11 月の領域委員会での承認を経る必要があるが、本年度の 10 月から影で参加していただく。

今後、フォノン分科の運営委員を 1 名体制に戻すかは分科の意向に従う。

[連絡事項]

・2017 年 4 月からの改選枠がある分科（電子線、誘電体、格子欠陥・ナノ構造）は、来年春のインフォーマルミーティングで承認をとるため、そろそろ候補の選定を始める。

なお、誘電体分科は津田健治先生（東北大学際研）を推薦することが報告された。

2. 2017 年 企画・招待・シンポジウム講演について

[審議事項]

・フォノン分科荻先生から 2017 年 3 月の年次大会で開催されるシンポジウムについて説明があった。タイトルは「フォノンの評価法とその応用（仮）」であり、実験・理論を含めフォノンの最新の評価法とその応用について、5 名の講演者に発表していただく。審議の結果、本件は承認された。

[連絡事項]

・2017 年秋季大会の企画・招待・シンポジウム講演について、そろそろ構想を練っておく。

12 月に行われる年次大会のプログラム編成会議の際のインフォーマルミーティングで、

構想を紹介していただけるとスムーズに学会に提案できるため。

3. 学生奨励賞の申請受付について

[報告事項]

- ・今回、誘電体分科から2件、格子欠陥・ナノ分科から1件申込みがあった。
- ・今後は、webからの講演申込みの際に学生奨励賞を希望する旨のチェックボックスを設け申請をわかりやすくする。また、学生奨励賞の申込みをwebからのみとし、厳密に候補者を決める。
- ・ただし、webからの申込みは2017年の秋季大会からとなる予定。
- ・講演申込み時期の前に各分科のメーリングリスト、ホームページ等で周知をする。

4. 分科メーリングリストの整備

[連絡事項]

- ・現在、4分科でメーリングリストが作成されている。フォノン分科、電子線分科、X線分科は、なるべく早く作成する。技術的な問題は、幸田先生に連絡する。
- ・年1回物理学会よりメーリングリストを増やすかについて連絡があるため、さらにメーリングリストを増やす場合は連絡担当に伝える。
- ・2016年10月から運営委員に就任される方は、運営委員のみのメーリングリストに登録するため、幸田先生に連絡する。10月1日で運営委員のメーリングリストが更新される予定。

5. 領域10 WEB ページのリニューアル

[連絡事項]

- ・領域10のwebページは、連絡担当が管理する。
- ・運営委員の誰でも編集・更新を行えるように現在変更中である。

6. 学会事務局からのお知らせ

[連絡事項]

- ・来年春の年次大会から、マイページからの講演申込みとなることを周知する。また、学会への入会もマイページで行い、入会の際に2名の承認が必要となる。承認についてもマイページ上で行う。

その他

- ・10月から連絡担当が幸田先生（KEK 物構研）から鈴木（群馬大学）に変更となる。
- ・概要集のwebアクセス権と配布CD代を参加登録料に含められないかとの提案があった。その理由として、分野によって概要集の提出率に差があり、提出率の低い分野では概要集

の web アクセス権を購入しないため不公平感がある。また、概要集の web アクセス権を研究室で共有している可能性があるため。

以上

進行：領域 10 連絡委員 幸田章宏（KEK 物構研）

書記：次期領域 10 連絡員 鈴木宏輔（群馬大学）